2026/10/23

人材の確保と育成における GFSIの取り組み

GFSI日本ローカルグループ事務局
CGFジャパン　大久保力

プロローグ

それは2024年の年末、GFSIナレッジコネクトWGのあるメンバーの一言から始まった。

「*品証部の若手メンバーのモチベーションが上がらず、辞めてしまう人も増えているんです。*」

2025年第2回ナレッジシェアリング「若手集合！食品安全トークフェス」

開催日時：　9月30日（火）14:00～17:30＋懇親会17:30～18:30（ノンアル！）

開催方式：　永田町会議室での対面

参加人数：　16社から30名

プログラム：①食品安全の仕事の意義を再認識しよう：個人ワーク、グループワーク、講演

②他社の仲間から仕事のヒントをもらおう：グループワーク

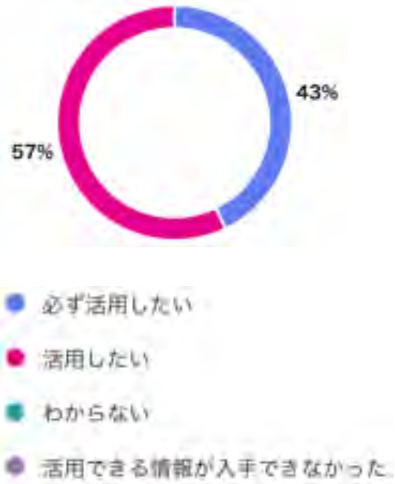


目標の達成状況（事後アンケートでの自己評価）：

①食品安全という仕事の意義・やりがいを自分の中で腑に落としている。



②他社メンバーから入手した情報やアイデアを、自身の業務や自己成長のために活用したいという気持ちになっている。



③他社メンバーと継続してコミュニケーションをとっていきたいという気持ちになっている。



全体評価
（同僚へのおすすめ度）





プロローグ２

今年に入り、別のWGのメンバーからも同様の嘆きが・・・

「*品証部への転入者のモチベーションがなかなか上がらず、辞めてしまう人もいるんです。*」



ちょうど、World Food Safety Dayのイベントを検討していた時期と重なり、
関連するテーマを取り上げることに決定。

World Food Safety Day 2026 イベント
～食品安全／品質保証の仕事の魅力とは？～

開催日時： 6月3日（水）15:00～16:00

開催方式： オンライン

参加人数： 9社から12名

プログラム： 個人ワーク、グループワーク、全体共有

事後アンケート： 後で紹介

「話せば話すほど、食品安全/品質保証という仕事の魅力がよく分かりました。」

皆さんにとっての食品安全/品質保証の仕事の魅力は何ですか？
職場の同僚とお互いの考えを交わしてみませんか？



News Update 05 Jun 2026

Beyond the data: GFSI Japan Local Group explores the heart of food safety careers



World Food Safety Day 2026イベント・・・事後アンケートの結果（n=28）

Q.あなたが考える食品安全／品質保証の仕事の魅力は何ですか？改めて整理して、ここに記載願います。

圧倒的な社会的意義と「食の安全」を守る使命感

・「安全・安心」の最後の砦
・消費者の健康維持や社会の信頼を支えている
・品質を自らの手で確認・創り込める
・商品価値で最も重要な要素（品質）」を担っている

会社とブランドを防御・牽引する「経営層・現場への影響力」

・品質問題による危機からブランドと会社を守る
・経営層とのダイレクトな連携
・工場のルールや品質保証の仕組みをクリエイティブに創造・構築できる
・会社全体に品質意識を浸透させる手応え

事実と根拠（データ）に基づく論理的で健全な業務

・データや事実を基に根拠を持って議論し、より良い判断に繋げられる「健全さ」と「面白さ」
・根拠に基づいて客観的に話す習慣が身につき、社内外から頼られる存在になれる
・自分の判断や行動が直接「安全・品質」という形になって現れる

サプライチェーンへの横断的な関わりと信頼関係

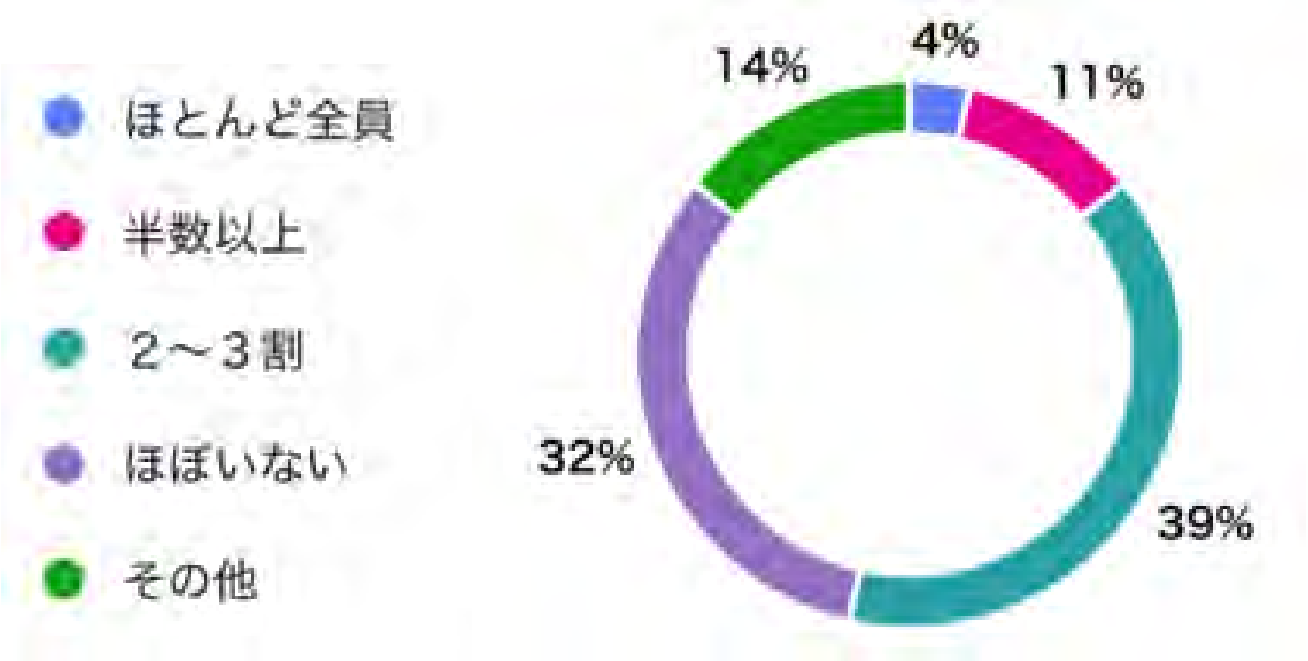
・サプライチェーン全体や工場のすべてを深く知ることができる
・多種多様な人と折衝し、協力して安全を守る楽しさ
・出張などの機会も含め、視野や人脈が広がる
・苦情やトラブルに適切に対処する中で、相手から直接感謝され、強固な信頼関係を築くことができる

業界・国境を越えて通用する専門性とポータビリティ

・専門知識は世界共通であり、業界や国境を越えて通用する
・対象商品が変わっても軸となるスキルは変わらない
・多くの部門を巻き込むためのリーダーシップ、ファシリテーション能力、物事の本質を見極める力が複合的に磨かれる
・働きやすく、多くの女性も活躍

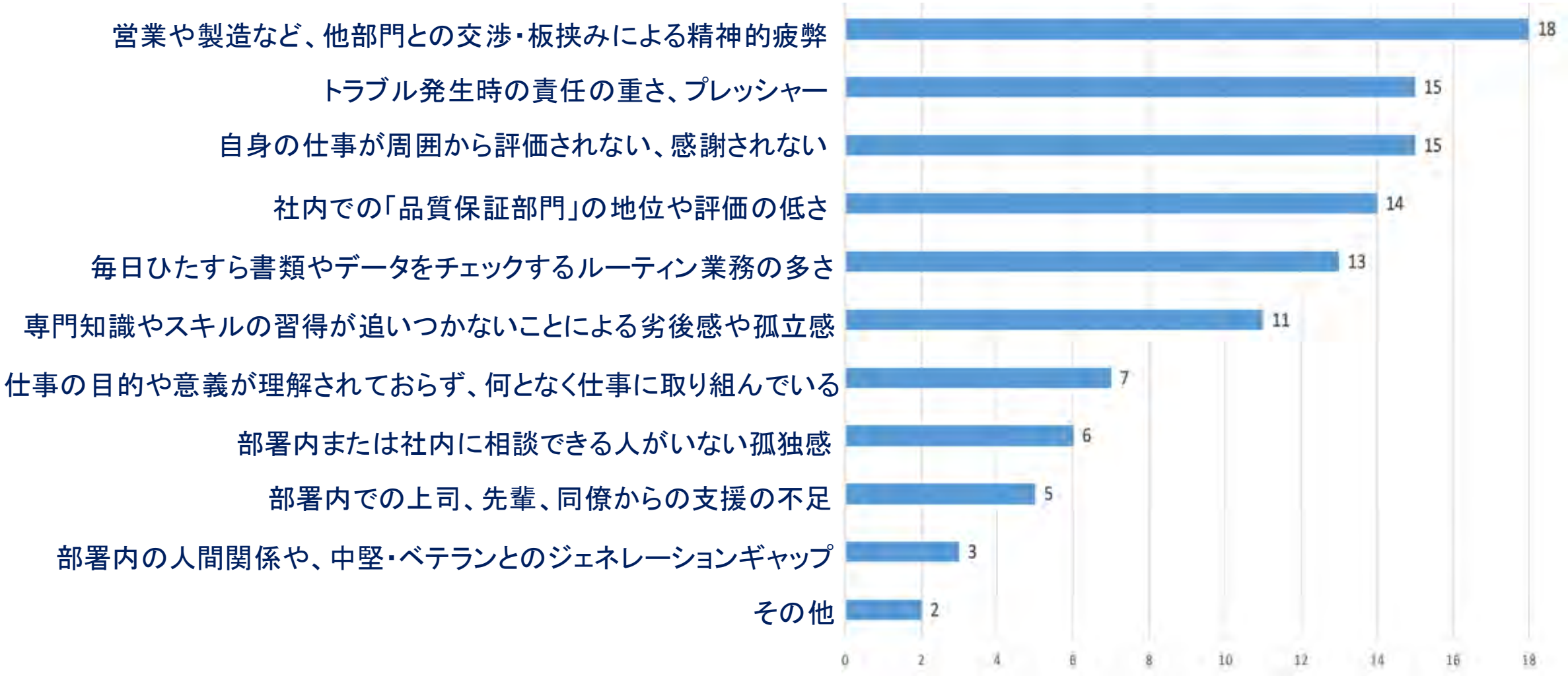
World Food Safety Day 2026イベント・・・事後アンケートの結果（n=28）

Q. あなたの部署に配属された若手や他部門からの転入者のうち、「モチベーションの低下」や「職場への不適応」を感じる人の割合はどのくらいですか？ご自身の感覚でお答えください。



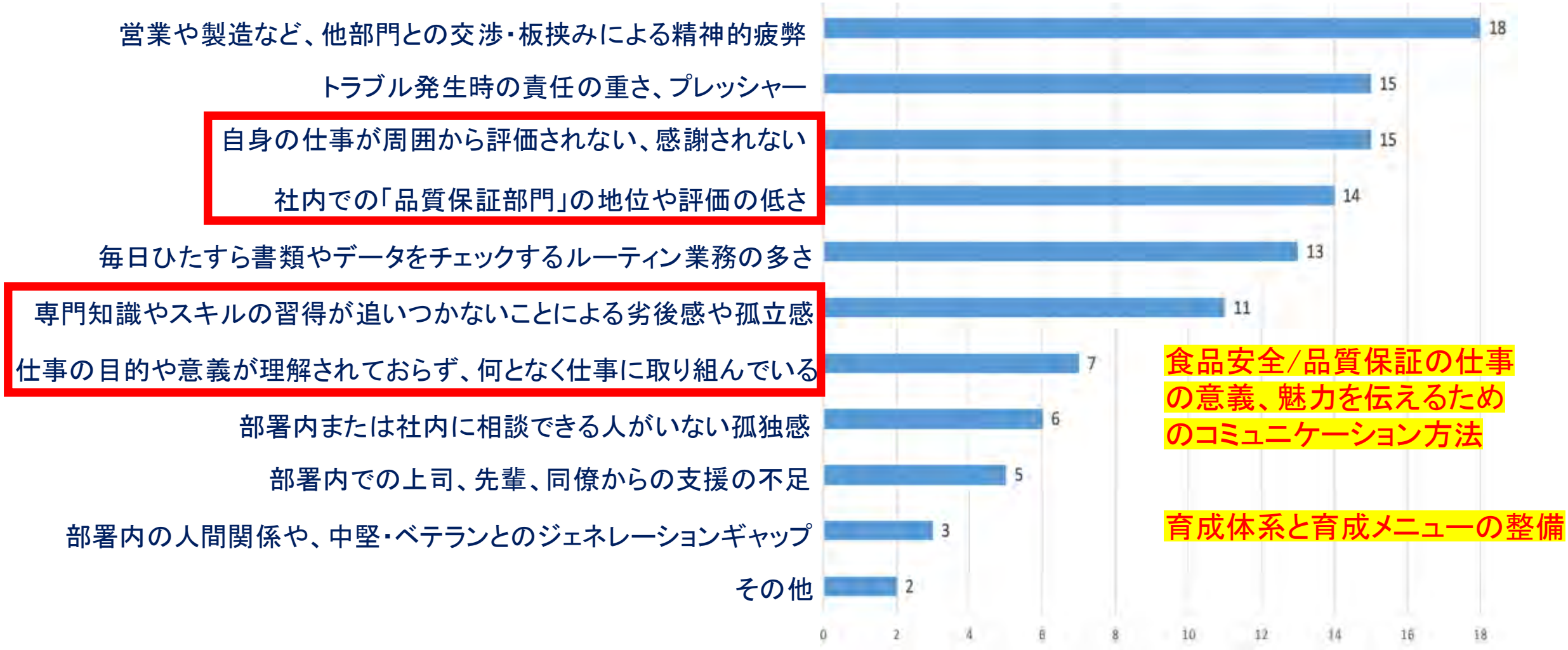
World Food Safety Day 2026イベント・・・事後アンケートの結果（n=28）

Q.若手・転入者のモチベーションが上がらない理由になっていると、周囲から見て感じるものは何ですか？
お考えに近いものがあれば選択願います。（複数選択可）



World Food Safety Day 2026イベント・・・事後アンケートの結果（n=28）

Q.若手・転入者のモチベーションが上がらない理由になっていると、周囲から見て感じるものは何ですか？
お考えに近いものがあれば選択願います。（複数選択可）



World Food Safety Day 2026イベント・・・事後アンケートの結果（n=28）

Q.若手や転入者のモチベーション向上のために取り組んでいることがあれば記載願います。
　目的は違っていても、結果としてモチベーション向上につながっている、という取り組みでもOKです。

ビジネスを推進する重要な存在であることを理解させる

・仕事の目的、背景、目指すべきゴールを丁寧に説明
・不適合を見つけたら褒める
・品質向上の結果を数値化し、会社方針と日々の努力が緊密に連携していることを実感させる

将来の見通しを立て、専門性を高めることで「ここで働く価値」を実感させる

・育成計画表を作成し、自身の成長具合や習得スキルを可視化する
・キャリアパスを見える化し、数年後の姿を想像できるようにする
・社外資格の取得を推奨し、どこでも通用する人材としての自信を持たせる

ルーティン業務によるマンネリを防ぎ、付加価値の高い業務に集中させる環境づくり

・ルーティン中心でも惰性に陥らないよう、本人が工夫・進化できる余地を残す
・新たなミッションや特命業務を与える。
・ルーティン以外に学ぶ時間を確保するため、煩雑な業務に追われないよう配慮する

メンバーを孤立させないための対話や仕組み作り

・週に1度の上司との1on1など、積極的に話を聞く機会を作る
・目標や目的を明確にし、進捗を日々確認しながら必要なサポートを行う
・本人の提案業務を実際にやらせてみて、適切に評価する
・過去のトラブル対応や専門知識を整理した研修資料を整備し、対応時の不安を軽減する

外部との接点拡大（視野の拡大・感謝の獲得）

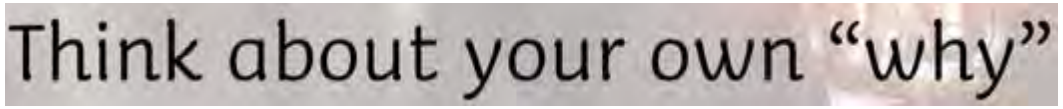
・社外の食品安全管理部署との交流、他社のキャリアの話を聞く機会、研修への参加などを促す
・一つの工場での業務から、エリア内の複数工場での交流会や勉強会へとコミュニケーションの輪を広げる
・問い合わせ対応や勉強会の講師、顧客対応などを経験させ、相手や得意先から「直接感謝される」機会を作る
・他部署に関わるリーダーシップを発揮できる役割（品質事務局など）の付与

食品安全文化に取り組む理由　GFSI カンファレンス2026より

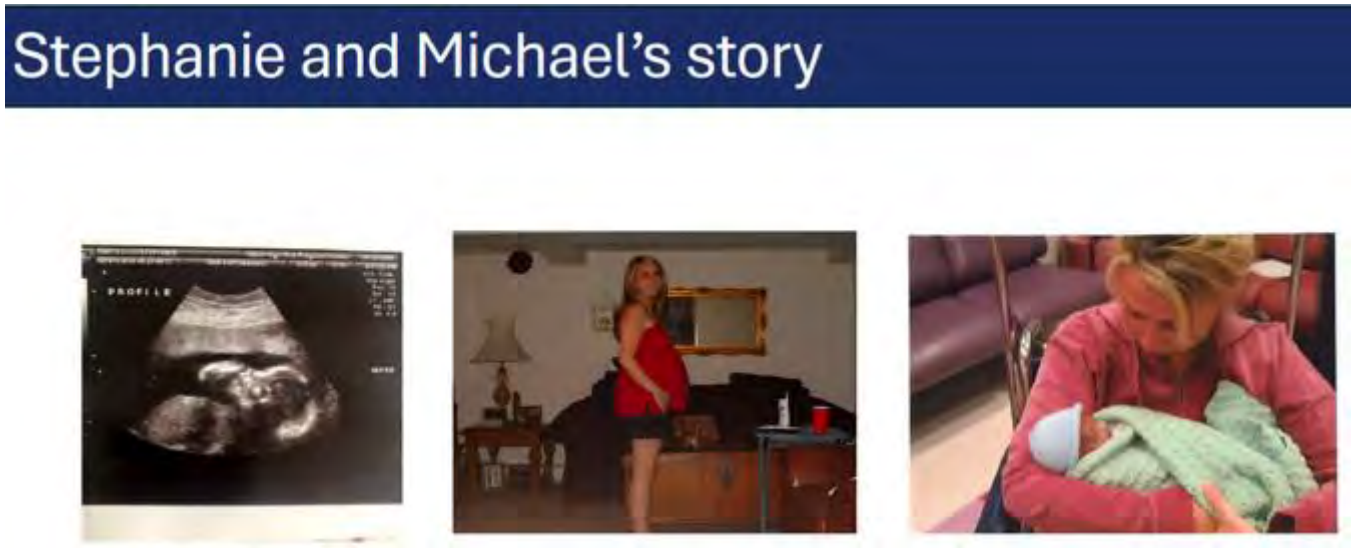


食中毒患者の家族・遺族へのインタビュー動画を食品企業のトレーニング用に公開

https://stopfoodborneillness.org/toolkit/alliance-video-series/

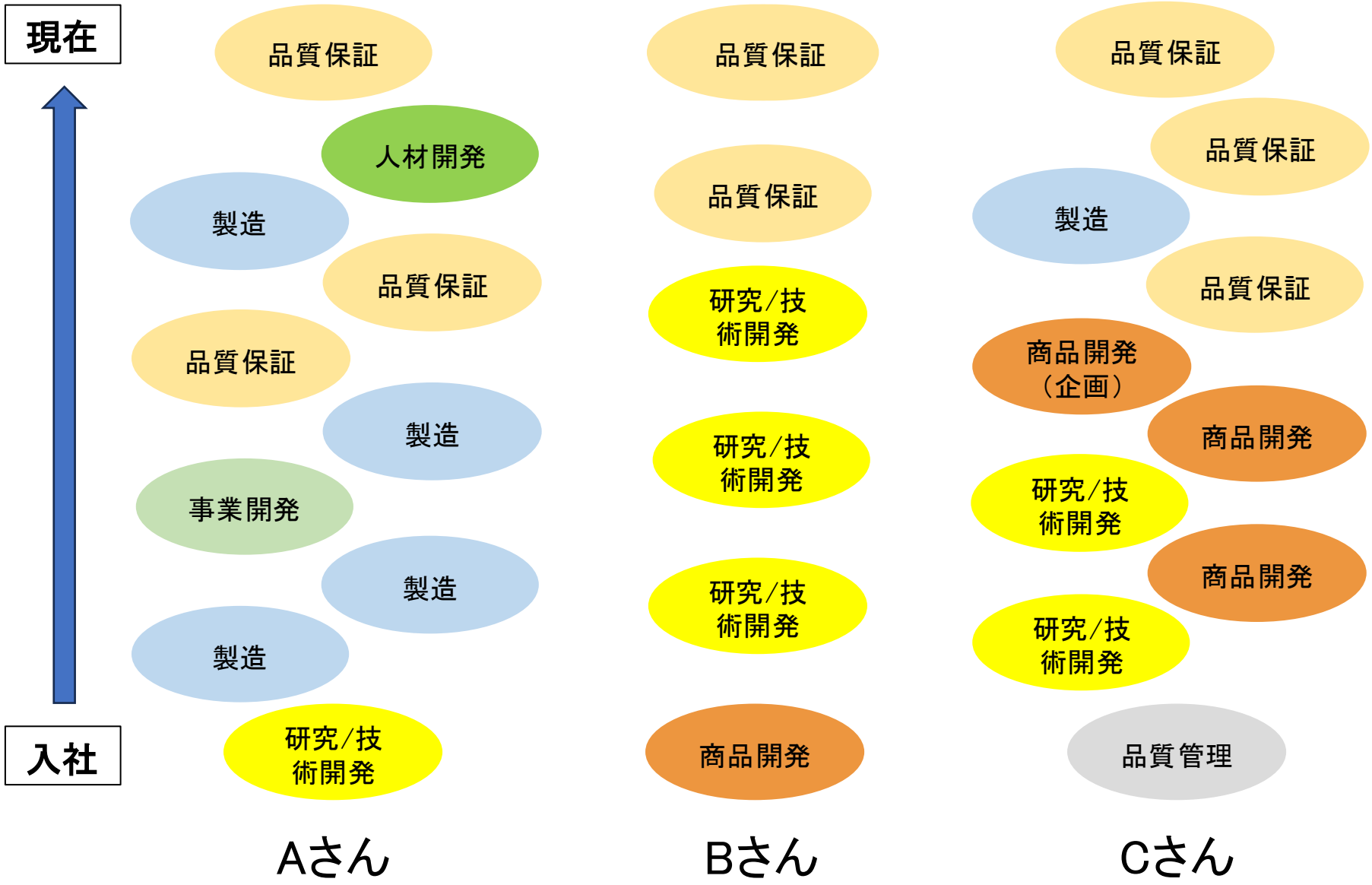


他のセッションでは、2008年に22名の死者を出すリステリア症集団感染を起こしたカナダ　メープルリーフ社からの事例共有も。



あなた自身の「なぜ」について考えてみましょう。職場の全員が自分自身の「なぜ」を腑に落とした時、食品安全/品質保証部門は更に輝く組織に変わっていくことでしょう。

食品安全人材の確保：農水省と連携した大学生へのアプローチ



ご清聴ありがとうございました。